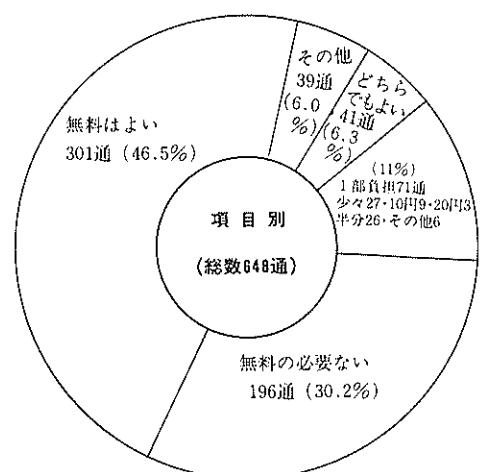


ゴミ袋無料化のアンケート

●市長への手紙



市長への手紙は、一月二十日現在
現在で六八八通。このうち、ゴミ
袋の無料化についてのアンケート
に回答のあったものが六四八通あ
りました。

これを地区別にみてみると
篠八七、長岡七六、日章六九、三
和四九の順。少なかつたのは瓶岩
七、岩村一二、上倉一四となつて
います。これは地区別の人口差が
あり、大体それに比例した数字と
いえましょう。また、無名など地
区のわからないものが一八通。
これは、要求、要望などの意見が

ない」五〇に対しても「よいことだ」
四六と逆転しているほかは、「よい
ことだ」の多いのは三十歳代三九
対六、四十歳代四七対二八、六十
歳代五六対三六と圧倒的によいと
答えています。

職業別では、農業が五六対六〇
で、わずかながら「必要ない」が
多くあり、やはり自家処理ができる
手ごろにあるので、無料化はやめ
て、そうした空袋を使うようにし
ては、という意見つきのものが
目立っていました。

その反面、自家処理の比較的で
きない勤め人では、七〇対三五と
圧倒。また、お年寄りで無職の人
も四九対三三、主婦二対六と「よ
いことだ」とあります。

賛成 細かい行政の表れ

次に、市民の意見をみてみます
と、まず、「無料はよいことだ」と
答えた人たちは――。

「川が非常にきれいになつた。こ
こで有料にすると、また川が汚く
なるので、無料を続けてほしい。」

「ことだ」が大変多くなっています。

▼きめ細かい各家庭に直結する行
政の表れ、市と家庭生活をつなぐ
パイプだ。環境浄化を粘り強く進
めてほしい。

▼無料の趣旨を考え、川や町をさ
れいにする気持、習慣を市民一人
ひとりが十分持つようにはべきだ。
というのが、賛成する人たちの大
方の意見でした。

一方「無料にする必要はない」と
答えた人たちは――。

「市民の出すゴミは、市民の責任
で処理するが当然。タダにすれば
もらわなければ損ということになり
税金のムダ使いだ。」

▼農家では自家処理できる。無料
でもらう人ともわないので不公平だ。

「するものに金をかけるのは、
すべきだ――というのが、無料化
を歓迎しない意見でした。」

次に、一部負担を提言した人た
ちは、かなり具体的な方法や考
え方を示しています。

648人の市民から回答や意見

金園で初めてのゴミ袋無料化に取りくんで一年。
市民の反響もいろいろ、六百四十四人の人たちの貴重なアンケ
トと意見、提言が寄せられた。
手紙の内容は、市民の声が緩られ、短くまとめるのも苦労の
種。

しかし、この特集が市民みんなのものとして、「ゴミ戦争」を考え
市民ぐるみのクリーン作戦に発展すれば、幸である。

最高は大篠八七通

市長への手紙は、一月二十日現在
現在で六八八通。このうち、ゴミ
袋の無料化についてのアンケート
に回答のあったものが六四八通あ
りました。

これを地区別にみてみると
篠八七、長岡七六、日章六九、三
和四九の順。少なかつたのは瓶岩
七、岩村一二、上倉一四となつて
います。これは地区別の人口差が
あり、大体それに比例した数字と
いえましょう。また、無名など地
区のわからないものが一八通。
これは、要求、要望などの意見が

なく、アンケートだけに回答があ
ったものが四四通ありました。
項目別では「無料はよいことだ」
に問題があつたかと思ひますか、
いずれかにはつきり区分できません
とまどいもあつたようです。

「無料の必要はない」という設問
に○印のあつたものの
うち、「一部負担にしてはどうか」
と書かれてあつたものを別に抜き
出してみました。

それによりますと、無料はよい
ことだ三〇一（四六・五）無料
の必要はない一九六（三〇・二）
一部負担七一（一一・〇）この
内訳は、少々負担三七、十四負担
九、二十四負担三、半額負担二六

無料の必要ない 30・2 パー

その他へなっています。

また、どちらでもよい四一（六・

二）その他三九（六・〇）と

いうことで、無料化に賛成とい

うのは半数になりなく、意外に人気

がないといえそうです。

地区別の賛否をみてみますと、

「無料にする必要はない」が上廻

ていますのは上倉の三対七、「山

間部のため、自家処理ができるの

で、その金を別に使つてほしい」

というのが大方の意見だつたよう

です。

一方、「無料化はよいことだ」

の多かったものは、大篠四五対一

と圧倒的に多く、次いで日章三

七対一九、久礼田一九対七。また

贊否の接近していますのは、岩村

四対四で同数、国府は九対七、長

岡一九対一四といったところです。

市街地の後免では、回答のあ

たものは一三通と少なかつたが、

「よいことだ」九、「必要ない」

四ということでした。

年令別では、五十歳代が「必要

ゴミ袋アンケート集計表

地区別等 項目別	地区別												性別		20歳未満 男	20歳以上 女	計				
	上 倉	瓶 岩	久 礼 田	豊 岡	國 府	長 岡	岩 村	野 田	後 免	大 篠	三 和	日 章	前 浜	柳 生	市 明						
①無料配付はよいことだ	3	4	19	16	9	29	4	10	9	45	23	37	14	14	17	48	162	88	51	1	17
②無料にする必要はない	7	2	7	11	7	24	4	4	4	21	19	19	11	6	10	40	103	51	42	8	
③一部負担	少々	1	1	1	1	7				3	2	2	2		1	7	13	7	7	1	3
	10円			1	1			1		2	1	1				2	6	1	2		
	20円								1				1			2	1				
	半額	1	1	1		1	5			7	1	3	1	2	3	15	38	18	15	1	4
	その他						1			1				2	4		2			1	
一部負担計	2	1	5	1	2	13	1	1	1	12	5	6	3	1	3	15	38	18	15	1	4
④どちらでもよい	1		2	4	2	5	2			6	1	5	2	1	3	7	17	16	8		1
⑤その他	1		1	5	3	6	1	1	1	3	1	2	1	1	4	8	15	16	8		
計	14	7	34	37	23	76	12	16	15	87	49	69	31	23	37	118	335	189	129	2	30

50年1月25日現在

年 令	職業別												計		
	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	不 明	農 業	商 業	製 造 業	勤 労 者	主 婦	無 職		
39	47	46	56	26	4	65	56	11	1	70	21	49	19	74	301
6	28	50	36	15	4	49	60	8		35	6	23	10	54	196
2	2	7	1	3		8	9	1		6	2		1	8	27
	1		5			3	2	1		1		2		3	9
	1					1		1				1	1	3	3
1	4	6	3	8		4	7	1		5	3	3	2	5	26
	1	2				2	1			1		1	3	6	6
3	8	14	11	12		18	19	4		13	5	6	4	20	71
	8	5	8	8	2	9	14			6	8	3	10	41	
6	4	5	7	5	1	11	10	2		8	4	3	12	39	
54	95	120	118	66	11	152									

▼無料化は良いことだが、財政的に無理がいく。一部市民の負担にし、肥料袋や米の空袋を使うなど

節約した金を別の方面に利用してはどうか。

▼土地のない人は無理と思うが、農家では十分始末ができる家でも無料となれば受取っている。一部

負担にすれば、必要なだけもらつようになるのではないか。

一部負担を主張した人たちは、「無料はよい」「必要な」を通じて配付することは事務上大変むづかしいことです。また、その実態調査を地区の衛生委員におしつけられるのも問題があります。

「あなたたちは自家処理ができるので、年間五十枚にします。」

「あなたたちは自家処理はできないようだが、家族などからみて七十枚にします。」ということを市で決めるとは無理があります。

【後免町・主婦】五十歳

「おかげさまで今までより非常に川がきれいになりました。が、まだ不心得者が、ほつぱつ

川へ流しています。住民相互に気をつけあっていますが、折角大変良くなっているものをここ

で有料にすればまた川がまたなくなると思います。無料配付は続けてほしいと思います。

【田村・商業】四十二歳

「おかげさまで今までより非常に川がきれいになりました。が、まだ不心得者が、ほつぱつ

川へ流しています。住民相互に気をつけあっていますが、折角大変良くなっているものをここ

で有料にすればまた川がまたな

くなると思います。無料配付は続けてほしいと思います。

【立田・会社員】五十二歳

「おかげさまで今までより非常に川がきれいになりました。が、まだ不心得者が、ほつぱつ

川へ流しています。住民相互に気をつけあっていますが、折角大変良くなっているものをここ

で有料にすればまた川がまたな

くなると思います。無料配付は

続けてほしいと思います。

【久礼田・会社員】四十四歳

「今まで汚れていた川がきれいにならなかったという意見

が、市の負担が多いのも大変。多數の人の意見に従います。という

【岡畠町・69歳】

「どちらでもよい」と答えた人

たちは、▼無料にしたことはよいが、市の負担が多いのも大変。多數の人の意見に従います。という

一律百枚は

不合理だ

問い合わせ、一律百枚を配付するのではなく、必要に応じて数量を制限してはどうか。

答え、現在でも市民のなかから希望者を募り、その申請に基いて交付しています。衛生委員会や公民館などでも説明してきましたが、まだ市民に十分理解してもらえていないところがありまして、一律百枚というように受取られて

いるようです。そこで、広報紙や市民と市長の対話集会、衛生委員会、直接住民との話し合いなどを通じて積極的に市民の理解を求めていきます。

問い合わせ、家庭構成、地域などの状況に応じて配付枚数を増減してみてはどうか。

答え、出生・死亡・転入・転出な

指定の袋で

町をきれいに

△空袋を認めることになりますと無制限になり、集積場所で空袋が破れる、污水が出る、犬や猫が荒されるといったように、集積場所が大きくなり、近所の人迷惑をかけるとともに、不衛生で町が大変汚くなります。

△制限をゆるめるると小ささまのダンボール、容器類がで、収集がむつかしい。また、不燃物との区別がつかなくなり、不燃物とまちがえて焼却しますと、焼却炉をいためることになります。

△紙袋は目で見た不快感がありません。整然と積まれたゴミ袋は、ゴミは汚ない——という先入感を除き、町の美観を保っています。

△高知市ではビニール袋を使っていますが、ちょっと角にあたつたりしますと袋が破れたりして、なかなかうまくいっていません。そこで、肥料袋などの空袋は燃えるゴミは、今まで通り指定のゴミ袋で収集していきます。そして、市民の衛生思想の向上などと

を利用してはどうか。というのはもつともな意見です。各市の状況や市の実態などを調査、研究して「指定のゴミ袋に限る」と決めましたのは――。

問い合わせ、一ヶ月百枚を配付するのではなく、必要に応じて数量を制限してはどうか。

答え、現在でも市民のなかから希望者を募り、その申請に基いて交付しています。衛生委員会や公民館などでも説明してきましたが、まだ市民に十分理解してもらえていないところがありまして、一律百枚というように受取られて

いるようです。そこで、広報紙や市民と市長の対話集会、衛生委員会、直接住民との話し合いなどを通じて積極的に市民の理解を求めていきます。

問い合わせ、家庭構成、地域などの状況に応じて配付枚数を増減してみてはどうか。

答え、出生・死亡・転入・転出な

市民の税金の

配分の仕方

これらの意見は、市民みんなの税金をどのように使うかを提言していると思います。

四十九年度の当初予算は三十六億五千円でした。この収入は地方交付税九億九千万円、国・県の支出金十二億六千万円、市債三億九千万円、その他二億七千万円、市民の税金は七億一千万円となっています。これを市民一人当たりの

指定の袋で

税金でみますと一万六千五百

も考えあわせながら、将来の問題に使われている。

問い合わせ、有料または一部負担にして、よりよい方法を市民と一緒に考えていただきたいと思います。

問い合わせ、有料または一部負担にして、有料または一部負担にしてそのお金を他の事業にまわしてほしい。

答え、△有料・一部負担で税金・保育料を安く、市道・農道の舗装・駐車場・図書館・文化会館の建設などがあります。これらは、それで浮いた金を市政金庫で、市民の要求・要望の強いものに使ってはどうかという意見です。また、△無料をやめて母子手当・私の近くの道路舗装・業務用チリの無料収集など「ゴミ袋は市街地の人を使おうもので、私たちを使わない」そのため、「無料化はやめて、私たちに直接関係のあるものを無料にしてほしい」という意見があります。

問い合わせ、有料化はやめて、私たちに直接関係のあるものを無料にしてほしい」という意見があります。

問い合わせ、「ゴミ袋は市街地の人を使おうもので、私たちを使わない」そのため、「無料化はやめて、私たちに直接関係のあるものを無料にしてほしい」という意見があります。

問い合わせ、「ゴミ袋は市街地の人を使おうもので、私たちを使わない」そのため、「無料化は